

日 建 第 5 5 8 - 1 号

平成20年10月30日

国土交通省道路局長 殿

日南市長 谷 口 義 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについては、別紙のとおりです。

平成19年11月公表の10ヶ年中期計画は、道路整備に必要な道路特定財源と国民や各地方団体の意見を踏まえ、国土交通省の政策課題と評価により、総合的にまとめ策定された計画であります。本年度5ヶ年中期計画に策定変更される場合にも重要な政策課題として、基幹ネットワークの整備（高規格幹線道路）、地域の自立と活力の強化（生活幹線道路の整備）、安心安全の確保（交通安全に配慮した道路づくり、橋梁等の維持・修繕・延命化対策）など、**地方の意見を随所に反映**していただきたい。

特に、先の中期計画では、基幹ネットワークの整備中、高規格幹線道路整備の中で、関係する市町の永年の悲願であります、東九州自動車道（日南市～南郷町～串間市～志布志市間）を、一部現国道を活用しながら少ない投資で最大限の効果を上げる高速道路ネットワークを形成する整備手法で決定していただきました。

この新たな道路整備計画におきましても、本路線が必要な路線として位置づけしていただきますよう要望いたします。

さらに、高規格幹線道路の点検作業における評価指標の中の費用対便益の算出に当たりましては、将来交通量の推計により、貨幣価値に換算された従来の社会的便益（走行時間短縮便益・走行経費縮小便益・交通事故減少便益）だけでは、地方は大変不利な条件でありますので、貨幣価値で判断できない地方の特性や地方の安全・安心を確保するための「命の道」としての評価項目、例えば、救急車両搬送時間の短縮による「救急救命上昇便益」や台風・豪雨等の被災に伴う通行止めなどの規制による時間ロスに対する「通行規制解消便益」、更には、高速道路整備により、地方の地場産業・地域振興等の効果による便益（例えば南九州の特性と今後の地域振興に資するため発生する「食糧供給向上便益」「企業誘致・経済振興向上便益」「観光振興向上便益」などの便益）、また地球規模において、CO₂減少による「環境改善向上便益」といった意見も充分配慮していただき、地方の道路整備の必要性を重ねて要望するものであります。

また、地方の道路整備につきましては、少子高齢化が進む中、地域間格差の解消を図り、活力ある地域づくり・都市づくりを推進するとともに、地球規模での環境問題に対処し、安全で安心できる国土の実現を図るためには、高速道路から生活道路までのネットワーク整備等が重要であります。

これまでの道路は、道路特定財源制度により、緊急かつ計画的に整備が進められてきましたが、その状況は十分であるとは言えない。

このような中、「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定されたが、未だ、道路財源の扱いについて明確な方向が示されておらず、道路整備に大きな不透明感が生じています。

そのためにも、災害対策、医療などの安全・安心や観光など地域振興等の地域生活に密着した道路整備が安定的に実施されるよう、地方道路整備臨時交付金制度の拡充・継続し、利用者の利便性向上に努め、高齢化する道路ストックの増大に対応し、適時適切な修繕等による効率的な管理を行い、安全性・耐久性を高め、道路利用者の意見を反映した道路整備を要望するものであります。

○現 状

本市は、宮崎県の南部に位置し、東に日向灘を臨み、西は都城市・三股町、南は串間市・南郷町、北は、宮崎市、北郷町に隣接しています。

道路網は、南北に縦断する国道220号、東西に走る国道222号を動脈とし、主要地方道4路線、一般県道10路線が縦横に配置され、国の重要港湾で県南唯一の貿易港である油津港と緊密に連携しながら、交通網を形成しています。

私たちの住む、この地域は、大自然に恵まれ、農林水産業などの第一次産業に最適の地で、さらに、歴史的文化や美しい景観が、数多く残され、観光資源の宝庫でもあり、安全で安心できる山の幸、海の幸など食糧の生産供給基地として、その役目を十二分に、果たしていける可能性と、多くの観光客を受け入れる事のできる、素晴らしい資源と潜在能力を持った地域でもあります。

しかしながら、道路網の整備が遅れているために、これらの豊富な資源や潜在能力が活かしきれず、企業誘致もなかなか思うように進まず、人口が、市外への流失、少子高齢化等により、年々減少傾向にあり、地域の再生や活性化に大きな支障をきたしております。

○課 題

「ふるさとの香りただよう元気な都市（まち）」を目指す本市は、海・山・里が織りなす多種多様な恵と資源を更に活用し、バランスのとれた産業振興を図る必要があります。

本市は「油津港と東九州自動車道を機軸としたまちづくり」を推進するためにも、港と後背圏とのアクセス道路の整備を行うことが課題となっています。また、東九州自動車道の建設促進をはじめとする幹線道路網の整備を図り、企業誘致による雇用創出、情緒豊かな歴史・文化を活用した観光振興対策や医療体制の整備などの施策の展開が課題であります。

本市の目指す、将来の都市像である「ふるさとの香りたどよう元気な都市（まち）」を実現するための目標である「活力のある元気なまちづくり」、「地域特性を活かしたまちづくり」、など総合的なまちづくりをこれまで以上に推進するための最大の課題は、産業を活性化し、若者の定住化を図り、引いては、人口を増やすことである。そのためにも「安全安心なまちづくり」、「地場産業の振興」、「企業誘致」、更には、「観光振興」が必要となってきます。

1. 安全安心なまちづくり

高度な医療を求めて、宮崎市などへの急患としての搬送機会が増大している。

県南地域の生命線といわれる国道220号は、大雨が降ると交通途絶になり、また、JRもストップしてしまうため、住民生活や産業活動に大きな支障を与えている。

東九州自動車道の整備については、災害時には、「いのちの道」としての重要な役割を果します。

2. 地場産業の振興

本市は、大自然に恵まれ、農林水産業などの第一次産業に最適の地であります。その大自然の中から生産される柑橘類、野菜、地頭鶏などの肉をはじめ、カツオ、マグロ、伊勢エビに代表される水産物などの数多くの食べ物を新鮮なうちに届けるため、短時間輸送が必要である。高速道路の整備により主要都市までの所要時間が大幅に短縮され、販路拡大が展開可能となり、特産品の開発から加工、販売までの流通体制の充実が図られ、地域活性化に大きく寄与できます。

3. 企業誘致

本市の人口は、市外への流失、少子化等により、年々減少の傾向にあります。人口減少が続く地方にとっては、産業を活性化し、若者の定住化を図り、引いては、人口を増やし、活力あるまちづくりをつくりあげることが最大の課題となっています。

企業としては、製品を早く、確実に、安定的に輸送できる環境が整っていないと、なかなか進出してこない状況にあります。

このことは、道路網、特に高速道の整備が進んでいないことが大きく影響している。

「油津港と東九州自動車道を機軸としたまちづくり」を推進する本市にとって、交通網の整備は、商工業や産業の新たな雇用創出を図るため、安定性のある優良企業の誘致に積極的に推進できます。

4. 観光の振興

本市は、自然に恵まれた日南海岸、九州で最初に国の重要伝統的建造物保存地区に選定された飫肥、また、歴史的価値の高い堀川運河など豊富な観光資源を有しているこの地域を訪れる観光客は、年々増加傾向にあるが、台風や大雨などのたびに交通止めになるため、定着できていない現状で、素晴らしい資源や高い潜在能力を持っていても、これらを十分に活かしてきていない

道路整備により、所要時間の短縮が図られるとともに、市民がもてなしの心を持ち、市民が主体となった地域の市民活動や経済活動などを積極的に生かしながら、観光客受け入れ体制の整備や広域観光ルートを確立することができます。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他、意見
基幹ネットワークの整備	東九州高速道（日南市～南郷町～串間市～志布志市） 約41kmの早期整備について	高速道路は、国内を循環型の高速ネットワークを形成し、地方の自立ある発展に資する地域間の交流、連携を促進するばかりでなく、災害時の代替であるとともに、緊急医療においては、患者の生存率を向上させる「命の道」となる重要な社会資本であります。	高速道路の建設は、長期間を要する事業であります。特に日南市から志布志市間は、先の中期計画の点検時に一部現国道を利用し、整備を促進する区間に位置づけられ、国におきましても限られた道路整備財源により、最大の投資効果を求められる区間でもあります。 従いまして、選択と集中の基本方針に基づきまして、優先して整備する区間の設定を早期にさせていただき、一日も早い着工を希求するものであります。
国道220号の早期整備	国道220号小内海から風田区間の早期整備について	国道220号は、宮崎市を起点に日南市、串間市を経由する沿線住民の生活道路であり、産業・経済・文化・観光などに大きな役割を果たす重要な路線です。この国道は小内海から風田区間におきましては、地形が急峻な山々と険しい崖沿いとなっているため、台風や豪雨で再三に渡り通行止めとなり、救急活動や住民生活に多大な影響が生じております。そのため、国におかれましては、小内海から富士区間について、バイパス整備を含めた改良計画を示されたところです。この事業が計画的に整備されることにより、災害時における生活への影響がうすれ、安全で安心な交通路の確保ができるものと期待されます。	
油津港へのアクセス道路の整備	国道222号牛の峠バイパス整備の再開について	国道222号は、油津港利活用をはじめ本市の産業・経済・文化・観光の発展に必要な路線です。そのため「牛の峠バイパス」整備は、県南地域と都城市・北諸地域との流通業務を促進するための重要な事業です。	